

競技注意事項

1. 競技規則について

- ・Asianハーフマラソン競歩は、2025年ワールドアスレティックス競技規則並びに広告規程及び競技注意事項・大会申合せ事項に準拠する。
 - ・全日本、日本選手権、学生選手権、高校の部は、2025年ワールドアスレティックス競技規則、2024年度日本陸上競技連盟国内広告規程、及び競技注意事項・大会申合せ事項に準拠する。
 - ・中学の部については、2025年度日本陸上競技連盟競技規則並びに広告規程、及び競技注意事項・大会申合せ事項に準拠する。
- ※中学生を除くすべての種目について 競持規則 5.4.7.3 をはじめペナルティゾーンに関連する規則を適用する

2. コース、収集所、打切時刻、欠場について

- コースは日本陸上競技連盟公認 能美市営コース (往復 1.0km)
- スタート場所は、次のとおりとする。
 - ・マラソン競歩・・・南側折り返し付近
 - ・ハーフマラソン競歩・・・ペナルティゾーン付近
 - ・その他の種目・・・根上総合文化会館前
- すべての種目のフィニッシュ場所は根上総合文化会館前とする。
- スタート前の合図は5分前、3分前、1分前、30秒前、10秒前に行う。
- スタートラインに並ぶ際は、周回コース内側よりプログラムに記載の番号順とする。
技術代表が別途定めない限り、スタートラインに並ぶ際は、周回コース内側よりプログラムに記載の番号順とする。
(アジア陸連派遣の技術代表が、例外的に一部並ぶ替える場合がある。)
- 最終点呼時間は下記の表を参照、点呼場所場所は「根上総合文化会館前 ※会場図参照」とする。
(招集時、レースに使用するシューズを持参すること (WA規則第143条への適合を確認する)。)
- 制限時間について下記の時刻を経過して最終周回に入れない者、または競技運営及び交通事情に支障が出る場合は競技を打ち切る場合がある (3km競歩については、競技打切時間とする)。
- 欠場者は競技者受付時または招集開始時刻までに欠場届をTICへ提出すること。その際、必ずチップのついたアスリートビブスを返却すること。
- プログラム訂正は、訂正用紙を最終点呼開始1時間前までにTICへ提出すること。

競技開始時間と召集時間、打切時間、表彰予定

部門	種目	周回数	競技開始	召集開始	召集完了	競技打切時間	表彰予定
日本選手権男子	マラソン競歩	42回	8:00	7:30	7:50	3時間45分を過ぎて 最終周回に入らない	
日本選手権女子	マラソン競歩	42回				3時間55分を過ぎて 最終周回に入らない	
全日本男子	ハーフマラソン競歩	21回	13:30	13:00	13:20	1時間55分を過ぎて 最終周回に入らない	
Asian選手権男子	ハーフマラソン競歩	21回					
学生選手権男子	ハーフマラソン競歩	21回					
全日本女子	ハーフマラソン競歩	21回	13:30	13:00	13:20	2時間00分を過ぎて 最終周回に入らない	
Asian選手権女子	ハーフマラソン競歩	21回					
学生選手権女子	ハーフマラソン競歩	21回					
高校生男子	10km競歩	10回	12:15	11:45	12:05	50分を過ぎて 最終周回に入らない	
高校生女子	5km競歩	5回	15:30	15:00	15:20	30分を過ぎて 最終周回に入らない	
中学生男子	3km競歩	3回	15:30	15:00	15:20	25分を過ぎて 最終周回に入らない	
中学生女子	3km競歩	3回					

3. アスリートビブスについて

- 配布されたアスリートビブスは胸と背に配布された大きさのまま、全体が目視できるように四隅をしっかりと固定すること。
- チップ付きビブスが2枚配布された場合は、胸と背に着用し、1枚の場合は胸にチップ付き、背にチップ無しを着用すること。
- チップは競技終了後競技役員に必ず返却し、途中棄権や失格の場合はチップ付アスリートビブスを近くの競技役員へ返却す
- アスリートビブスの色分けについて

【男子】

【女子】

種目	色分け	種目	色分け
日本選手権 マラソン競歩	白色布に黒字	日本選手権 マラソン競歩	白色布に黒字
全日本 ハーフマラソン競歩	薄桃色布に黒字	全日本 ハーフマラソン競歩	薄桃色布に黒字
学生選手権 ハーフマラソン競歩	白色布に黒字	学生選手権 ハーフマラソン競歩	白色布に黒字
アジア選手権 ハーフマラソン競歩	薄黄色布に黒字	アジア選手権 ハーフマラソン競歩	薄黄色布に黒字
高校生 10km競歩	薄水色布に黒字	高校生 5km競歩	薄水色布に黒字
中学生 3km競歩	白色布に黒字	中学生 3km競歩	白色布に黒字

4. 飲料水、飲食物供給所について

- 飲食物の受付は3月15日(日)、下の通りに飲食物受付にて実施する。
【マラソン競歩】7:00~7:20 【ハーフマラソン競歩】12:30~12:50
※ 飲食物は安全に配慮された容器にアスリートビブスの番号と氏名を明記すること。
- コース上にスペシャルテーブルを1箇所、ゼネラルテーブルを1箇所設ける。
- 飲食物供給所以外で提供された飲食物をとった競技者は、審判長により失格させられることがある。
- 飲食物は主催者が許可した者(1チーム2名以内)が指定された場所と区域で手渡ししても良い。その際、ADカード確認のうえ、飲食物受付テントにて配付されたビブスまた、を必ず着用すること。
また、コースに出たり追走して渡したり、許可した者以外が受け渡した場合は失格とする。
- テーブルにナンバーで表示。テーブル番号は以下の通りとする。
①~⑨Asian、⑩~⑳日本選手権・全日本・学生、㉑~㉒はコーチのいない競技者とする。

5. 競技について

- 競技者は医師または主催者が任命した医療スタッフから競技を止めるよう指示された場合は、ただちに競技を中止しなければならない。
- 競技中、身体に異変、事故が生じた時は、競技役員に申し出ること。競技中の傷害・疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急処置以外の責任は一切負わない。
- ドーピング検査を指示された競技者は、速やかに係の指示に従うこと。
- ウォーミングアップおよびクーリングダウンは、ウォームアップエリア内で行うこと。(会場図参照)
- 日本選手権・全日本・学生選手権・Asian・高校生については競技規則5.4.7.3をはじめペナルティゾーンに関連する規則を適用する。
- シューズについてはWA規則C2.1Aを適用する。WA承認シューズリスト (<https://certcheck.worldathletics.org>)にて競歩種目での使用が認められた靴底厚40mm以下のモデルを使用すること。

6.表彰及び競技結果について

- (1) 日本選手権マラソン競歩の1位から3位までにメダル、1位から8位までに賞状を授与します。
- (2) 全日本ハーフマラソン競歩の優勝者には優勝杯、1位から3位までにメダル、1位から8位までにブロンズ像と賞状を授与します。
- (3) Asianハーフマラソン競歩の優勝者には優勝杯、1位から3位までにメダル、1位から8位までに賞状を授与します。
- (4) 学生選手権ハーフマラソン競歩の優勝者には優勝杯、1位から3位までにメダル、1位から8位までに賞状を授与します。
- (5) 高校の部・中学の部の優勝者には優勝杯、1位から3位までにメダル、1位から8位までにブロンズ像、賞状を授与します。
- (6) 表彰は競技終了後、準備が出来次第直ちに表彰式を行うので係員に従って待機すること。なお、表彰式の予定時刻は上記2.に掲載(ドーピング検査の関係で時間が遅れる場合もある)。
- (7) 各種目の完歩者で、公認記録証が必要な場合、600円を添えてTICに申し込むこと。後日郵送する(石川陸協発行)。
- (8) 競技結果は日本陸連及び石川陸協ホームページに後日掲載されるため、各自確認すること。

7.ドーピングコントロールについて

- (1) 本競技会は、ワールドアスレティックス(WA) アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会(時)ドーピング検査対象大会である。競技会(時)検査は大会前日23時59分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること。
- (2) 競技会(時)検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。
- (3) 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会へのエントリーにより、親権者の同意を得たものとみなす。
- (4) 上記(3)にかかわらず本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者が署名した同意書を大会に持参すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名した当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。ドーピング検査実施時に親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング検査手続に一切影響がないものとする。
- (5) 本競技会参加者は、JADAクリーンスポーツ・アスリートサイト(<https://www.realchampion.jp>)を利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。
- (6) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (7) 競技会(時)・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となることに留意すること。
- (8) TUE申請については、禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト(<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又はJADAのウェブサイト(<https://www.realchampion.jp/resources/000162.html>)を確認すること。禁止物質・禁止方法についてTUEが付与されている場合には、その証明書(コピーで可)をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること。
- (9) WAアンチ・ドーピング規則および規程、日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、WAまたはJADAのウェブサイトにて事前に確認すること。

8.その他

- (1) コース沿道におけるのぼり旗や横断幕などを紐などで固定しての掲出は認めない。手に持って応援すること。
- (2) 救護に関してはAEDをスタート付近に配備、救護係と救護車・車いすを配置する。
- (3) AD規制を遵守すること。
- (4) 男子更衣室は根上総合文化会館円形ホール、女子更衣室は根上総合文化会館小ホールとする。アジア選手、及び海外競技者の更衣室は根上学習センター講堂とする。
- (5) 大会本部 3月14日(土)、15日(日)能美市教育委員会スポーツ振興課 0761-58-2273
- (6) 大会当日以外、交通規制はありません。交通ルールに従って練習してください。
- (7) 貴重品等各自の持ち物は、各人で管理保管し、盗難紛失等のないよう留意してください。主催者において一切の責任は負いません。
- (8) 傷害保険内容 死亡・後遺障害：450万円・入院/日：3,000円・通院/日：2,000円
- (9) 大会の映像は主催者の許可なく第三者がこれを使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)を禁止する。
- (10) 会場までの交通機関のご案内
飛行機ご利用の場合 小松空港からタクシーで約15分
鉄道ご利用の場合 小松駅下車タクシーで約15分
能美根上駅下車 タクシーで約3分、徒歩約15分
高速道路ご利用の場合 北陸自動車道 小松ICもしくは能美根上スマートICから約10分
※ 当日は会場周辺駐車場の不足が予想されます。乗り合わせにご協力ください。